

八人)なり、地勢西北部は山多けれども概して高峻ならず、其の最も高きものをスカンヂナウイアアルプ(最高峯カルドーピック八四〇〇呎)とし、東南部は一般に低平なり、而して其の低平なる部分は即ちバルチツク海の沿岸にして、夫れより西するに従ひ漸く高く終に又峭壁直下して大西洋岸に落ち、更に又出て、近海無数の岩石島となる、故に此の半島は二斜面より成るものにして其の東方濶大の部分をスウェーデンとし、西方狭小の部分をノルウェーとなす。

二九三 海岸及び島嶼

海岸は島嶼及びフィオールドの多きを以て有名なり、其の延長は未だ測量を経ざれどもノルウェーの部に於て海峡の航行し得べきものゝみにて既に一萬二千哩あり、而して島の最も有名なるはノルウェー海岸

のロフオデンス、スウェーデン岸のゴツスランド、オーランド等とす。

二九四 河流及び湖沼

河はクロムメン、ゴター、ダム及びトルニ一等を有名なりとす、皆東南流して數多の湖水を貫けり、湖水は概して南方にありてウエテル、ウエテル、メーラル(以上スウェーデン)ミオセン(ノルウェー)は其の大なるものなり、此等の湖は皆百日乃至二百日間氷結す。

二九五 氣候及び産物

大西洋岸は灣流の作用によりて緯度の高きに係らず甚だ温暖なれども、兩國界の高原之れを遮るを以て、スウェーデンの海岸は頗る乾燥寒冷なり、而して内地は夏甚だ短く冬甚だ長く、土地の大半は森林を以て蔽はるれども、高原の地は喬木を生ぜず、耕地は實に僅少なり、故に此の

國に在りては農業よりも寧ろ航海漁業森林業等を主要とす、又ノルウエーには銀銅鐵の少量を産するのみなれども、スウェーデンは頗る鐵礦に富み其の質甚だ好く又亜鉛銅及び少許の銀を産出す、高原の地には馴鹿群を成し、麋鹿はスウェーデンに、海鳥はノルウエーに多し。

二九六 交通の概況

鐵道は近時漸く發達しスウェーデンに四千七百餘哩ノルウエーに千餘哩あり、電信線路又スウェーデンに五千二百二十哩ノルウエーに五千六百三十八哩、商船スウェーデンに四千艘ノルウエーに四千三百餘艘に及べり。

二九七 主なる都府

スウェーデンの首府はストックホルムにしてメーラル湖口に立ち九

島に跨り風光絶佳北方ベネチアの稱あり、之れに次ぐをゴツテンブルク、マルモー、ノルカーピング等とし、ノルウエーの首府をクリスチアニアといふ、之れに次ぐものはベルゲン、トロンジエム、スタパンガー等とす、其のハンメルフェストは歐洲最北の都會なり。

二九八 政體及び政治

二國各獨立にして各其の議會を有し各陸海軍を備ふ、但し一王の下に立てり、然れども王と雖唯此の國より彼國に三千の軍卒を送るを得るのみ、而して王は常にストックホルムに住すれども、憲法の規定に従ひ年々一定の期日間ノルウエーに在りて政務を行ふ、陸軍はスウェーデンに三十五萬餘ノルウエーに一萬八千人あり、海軍はスウェーデンに軍艦二十七艘軍人三千九百餘人、ノルウエーに軍艦十一艘四百八十餘

人あり。

二九九 教育及び宗教

二國共にルーテル新教を奉ず、而してスウェーデンは卓越なる公立學校を有し、就學兒童百分の九十四に及び、ノルウェーは之れに及ばずと雖、人民概して讀書を能くすといふ、大學はスウェーデンに二校、ノルウェーに一校あり。

第十五節 イギリス

三〇〇 イギリスの形勢

イギリスは歐洲の西北に位する二大島(大ブリテン、アイルランド)と凡そ五百箇の小島とより成り、曾てイングラント、スコットランド、アイルランドの三王國なりしが今は政治上一王の統轄に歸して合衆王國たり。

り、第十二世紀に及んでアイルランドを討滅し、十七世紀に及んでスコットランドを併せ、以て今日に至る、面積十二萬千四百八十一方哩(日本より稍小)、人口四千二百萬あり。

三〇一 位地及び氣候

此の國は世界無比の好位置を占む、即ち一葦水を隔て、農工商業共に盛にして、且人口稠密なる大陸の諸大富國に對し、又通常二日乃至三日間繼續する南西風及びメキシコ灣流は、溫氣を供給すると共に、南北兩米より航海の便を興へ、しかも離隔の海島たるを以て、直接に大陸の治亂に與かるを要せず、今日の盛大を致し、所以のもの、豈偶然ならんや。氣候は北溫帯に在り、且洋中に位するを以て、寒暑の差甚だ少なく、溫和にして、雨量多し、而して西岸は之を東岸に比すれば、極めて溫和濕潤な

り、これ皆灣流の影響による、然れども霧常に深く且時ありて毎日降雨することあり。

三〇二 イングランドの地勢

大ブリテンの東南部即ちイングランドの地方は高低起伏の曠原多く、北西部スコットランド地方の大半は山岳綿亘せり、又アイルランドの中央は平坦なる草蕪の原野にして山岳其の縁邊を圍繞し高峰は其の西と東とに連立す、然れども概して高峻のものなく只プリンリムモン山脈中のスノードン(三五七〇呎)を以て諸島中の最高とす、諸島共に海岸の出入夥しく安全便利の港灣又多し、而して如何に内地と雖も僅に七十五哩にして海岸に達し得べしといふ。

三〇三 主なる河流

此の國の河流は凡て長からずと雖其の河口開けて三角江をなし障礙物少なく、流勢緩徐にして且水深く、上流に至るまで船舶を通ずるを得、これ此の國の海事の發達をなしたる一源因なり、(スコットランドを除く)アイルランドのシャンノン河(二二四哩)は南西流をなして中部平原を貫流し二百十三哩間舟筏を通すべく、セバアン(二四〇哩)デームス(二一五哩)メルセー、センバア等又皆然り、故にロンドンを首とし大都府は皆其の河邊に立てり。

三〇四 産業及び産物

國の三分の一は主に山地なれども、他は皆耕地にして開拓洽く森林少し、中世に至るまでは農業及び牧畜最も盛なりしが、其の後石炭及び鐵の産出多きに至りては農業漸く衰頽して、今は却て製造業及び商業の

全盛を來せり。

又礦業は世界中北米合衆國に次げる屈指の國にして、炭田の面積全歐炭田の過半に達し年額二億噸を産出す、其の内三千萬噸は輸出し餘は悉く内地の製造業に使用す、而して鐵は大抵石炭産地に接近して存し、工業上大に便益を與ふ、其の産額平均千八百萬噸に達すれども尙内地の需要に足らずして外國より許多の輸入を仰ぐ、其の他銅、鉛、亞鉛、錫、白銅及び建築石材を産す。

製造業の第一は綿毛織物業にして之れに次ぐは鐵器なり、綿織の中心はマンチエスターにして其の原料はリバプールより輸入せる米國産綿なり、毛織物の中心はリーズ及びブラッドフォードの二市にして、鐵器製造の中心はバルミンガムとす、又造船業の盛なるはグラスゴーに

して之れに次ぐはニューカッスルとす。

三〇五 交通及び通商

内地自然の水利に加ふるに鐵道二萬六千哩、運河三千八百哩、電線路三萬二千哩(條線路二十萬哩)あり、商船は一萬七千五百艘八百萬噸を備へ、世界第一等の商業國たり、毎年輸出入の總額を數ふれば凡て六七億磅の巨額に達す。

三〇六 主なる都府

首府ロンドンはその殷富世界第一にして、長さ十五哩幅十哩四郡の地に跨りテムス河畔に立つ、沿岸には宏壯の船渠連亘して内外貨物の出入に便し、道路鐵道皆此に集り、世界の大水路皆悉く之に向ふ。又その壯觀を加ふるに二十個の大橋梁ウイストミンスタア寺院宮殿

(議事堂此に在り)及びセントポール大寺院を以てし、人口四百六十萬、毎時間に一家屋建設せられ、三百人以上の一村日々其の人口に加はる、又彼のロンドン橋は日々五十萬人の通行あり、鐵道は日々百萬人を乗せ來る、斯くロンドンは世界の通商、金融整理の大中心、大海港、大製造所、大快樂府なり。

其の他二十萬以上の人口を有するものはダブリン(アイルランドの首府)エダンバラ(スコットランドの首府)リバプール、グラスゴー(國中最大の造船場あり)マンチエスタア、バアミンクハム、リーツ、ジエフィールド、プリストル、ブラットフォード、ベルハアスト等なり。

三〇七 人種風俗及び教育

人種は主にチェイトン種なれども又ケルチ種あり、國語は英語なれど

もウエールス人及びスコットランド高地の人民は古ケルチ語を用ふ、元來イングラント、スコットランド、アイルランド三國は其の國性を異にするを以て、風俗習慣も從つて別異なれども政治上皆同等の民にして、勇剛堅忍率先して事を企て獨立の氣象に富むは他邦人の企て及ぶ所にあらず、國教は新教にしてイングラント、スコットランドの民は皆之れを奉じアイルランドは舊教を奉ず、普通教育は近年強迫法を發布せしより着々歩を進めり。

三〇八 政體及び海陸軍備

純然たる立憲政治にして世襲の君主之れを統轄し、議會は貴衆兩院より成る、然れども大權の歸する所は全く公選(年限七年)せし衆議院にあり。

陸軍常備兵は凡そ二十二萬内印度に七萬八千、殖民地に三萬三千、埃及に四千四百を派遣す、海軍の強盛に於ては世界に冠絶す、軍艦殆ど四百艘、水兵其の他の海員九萬七千人にして、最大速力の郵船又數十艘を具へり。

三〇九 殖民地の概況

領地は東西兩半球赤道の南北到る所に存在し、英王の領内に日の没することなしとは英人の常に誇稱する所なり、而して其の最も大なるものは北米カナダ、東印度、オーストラリア、アフリカ等にて其の他の各地を合算すれば面積凡そ九百二十萬方哩、人口大約三億餘なり。

第四章 アフリカ洲

三一〇 アフリカの形勢

アフリカは古來暗黒大陸の稱あり、是れ其の地の概して熱帶中に擴布し、風土特異に黒人之れに居住して海岸の出入乏しく、内地交通の便を得ざると、大沙漠、大森林等の探檢を遮ぎる、ありて其の土地の世人に知らるゝこと尠きとを以てなり、然れども尙歴史上に於ては最古の記録を有し、ニール河邊の如きは人文最も早く開けたる地方にして紀元前四千年前に建築せる碑石等あり、總面積は一千二百萬方哩にしてヨロツバに三倍し、アシアの七割に當る、されど海岸線は僅に一萬六千哩に過ぎずして、ギニア灣(内にベニン灣及セラフラ灣あり)シドラ灣(ケニアス灣、アデン灣等二三の屈曲あるのみ)。

三一 境界地勢及び沙漠

東半球の西南に位し東はスエズの運河を含める地峽及び紅海を以て
 アシアに接し、東は印度洋を隔て、遠くオーストラリアに對し、西は大
 西洋を隔て、南アメリカに向ひ、北は地中海を挟みてヨーロッパに望
 む、而して内地は一面の高原にして大山脈海岸に近く之れを圍繞し、沿
 海低平の地は僅に之れを縁附けたるに過ぎず、彼のサハラ及びカラハ
 川の沙漠の如きも亦皆此の高地中にあるものなり。

サハラは世界第一の大沙漠にして、南北千哩、東西三千哩、面積二百五十
 萬方哩(地中海の三倍)あり、往古は一の大海なりしが今は水なき砂石の
 大洋なり、其の地蘇丹スダンより高く間々粘土質の窪地又は山脈あり、降雨も
 皆無といふにはあられども(所々に潑水あり)呼吸を止むるが如き乾燥
 の熱風時々之れを吹き渡る。

北方のシドラ灣とカイロ府との間及びケープス灣の南に低平の地あ
 りて地中海面より低し、又サハラ沙漠中のチャツド湖及びカラハリ沙
 漠中のニガミ湖は各沙漠中央の漸低地に在り、數多の陸河之れに流入
 す、其の主なるものをチャツド湖に於てはシヤク河とし、ニガミ湖に於
 てはチヨーシ河とす。

三一二 河流湖沼及び山脈

河の最大なるものをコンゴ河(大西洋に注ぐ)とし、最長なるものをニ
 ル河(地中海)とし之に次ぐものをニール河(ギニア灣)ザンベジ河(印度
 洋)等とす、湖沼の大にして且多きは北アメリカを除けば此の洲を第一
 とす、即ちビクトリアヌアンザアルベルドヌアンザタンガニカ、ニヤ
 ツサ及びベンバの五湖は最大なるものにして皆東南地方に在り。

山脈の主要なるものはアトラス山(北方に在リ)コンク山カメルーン連山ウンガ山脈ロキング山(以上四方)ドラケンベルグ山及びアビシニア諸山(東南)等にして、最高峯をキリマンジャロ(一八八八一呎)及びケニア(二八〇〇〇呎)とす。

三一三 氣候及び動植物

アフリカは海岸單一にして出入なく、東北貿易風濕氣を帯びず、又た周圍の山脈の爲めに濕氣を吸収せらるゝを以て内地は一般に乾燥酷熱なり、然れども南方は土地至て高く又海洋の影響を受くるを以て稍、冷涼を帯ぶ、北方の地は橙、橄欖、椰子等を産しスーダン地方は豊饒にしてバオバフ樹カツサバ大薯地荳等の成長に適し、南方には大戟草、蘆香其の他珍奇の植物あり、動物に至りては象、河馬、犀の如き巨大なるもの殆

羊、豹、駱駝、駝鳥、ゴリラ、チンパンジー、獅子、鬣狗、鱔魚、鳩、アイビス、赤鳩等あり、蛇はアメリカ、アジアに比して多からず、虎と熊とは絶無なり。

三一四 礦

鹽は頗る多く鐵銅及び鉛はアトラス山に産し、銅は又ナマクワランド及び流域に生じ、南部アフリカには金剛石及び金を産す。

三一五 住民及び其の言語宗教

土人に三種あり、西南地方のホツテントット及びアシユメン種、其の北方に住するバンエチ種及びスーダン地方の黒人は是なり、又舊エジプト人とセミチック種なるアラビア人及びアビシニア人とは往古の移住民にして本來の土人にあらず、近來又歐洲各國の移住民あり、總計凡そ二億とす、而してスーダンは人口最稠密にチュニス之れに次ぐ、宗教は

東部及び北部に於ては回教を奉じ、南部及び西部の蕃民は各種の蕃教を奉じ、歐洲殖民地に在りては新教にして、アビシニアは一種の耶蘇教を信ず。

言語はアラビア語を最も多しとす、即ち北部及西部地方に行はる、又サハラにバアバア語あり、南部にバンチエ語あり、アシエメン地方にホツテントット語あり。

三一六 殖民地の概況

イングラントはケープロニー及びトランスバール、オレンジの地方を領し、東海岸の各地を保護し、エジプト亦其の掌中に在り、フランスはアルゼリア、セネガル地方、コンゴ其他の小殖民地を有し、ドイツは東西兩岸の各地を領し、ポルトガルは古來アンゴラ及ベンガラを保ち、又東

岸に夥多の領地を有す、イスパニアはカナリ及び少許の島を有し、イタリアはマツソワよりアツサブに至る紅海沿岸を有ち、トルコはエジプト及びフェザン、トリポリを有し、ベルギーはコンゴ自由國の監主たり。

三一七 エジプトの形勢

エジプトはニール下流に沿うて南方ウエテール、アフリカより地中海に至る四十萬方哩を包有する一國なり、然れども實際人民(七百萬)の居住するは十一萬方哩にして國の兩側は沙漠地たり、其の西に在るをリビアの沙漠と稱し、東に在るをヌビアの沙漠とす、國中を上下の二部に分つ、前者は南方の河谷にして後者はニール河の三角洲なる低平の沃野なり。

三一八 エジプトの商業及び交通

此の國は本洲内地とアジア大陸との交通大陸路と東西洋航通の大水路との相交又する所に位し、商業上好良の地位を占む、是れ佛國の大土木師レセツプ氏の計劃によりて千八百五十九年に着手し六十九年に至つて竣工せしスエズ大運河の惠に依るもの多し。

運河はレ湖口のポートサイドに起り紅海口のスエズ港まで延長八十七哩、之れを通過する船舶英國のみにて一年三千艘に及び、通行銀の年額三百萬磅に上るといふ。

スエズ運河の他尙ニール河道及び千三百哩の鐵道ありて通運に便し電信線は鐵道及び大道に沿うて架設せられ、近年尙ほアレキサンドリアより赤道近傍まで架設せられたりといふ。

三一九 農業及び物産

上部エザプトに在りては數年間一雨を見ざること珍しからずと雖、下部三角洲の地に在りても尙降雪稀なり、然れども年々ニール河の汎濫ありて沿岸の地をして肥沃ならしめ農業を以て主要なる産業たらしむ、其の産出の重なるものは棉花、砂糖及び蠶豆にして、綿布及び石炭は一に外國の輸入を仰ぐ。

三二〇 エジプトの都府

首府カイロ(五十七萬)はニール河の東岸に在りてアフリカ第一の大都會なり、各種の人民此に住し、各國の物産輻輳す、此の府又アラビア文學の中心たり、カイロの西方河を隔て、ギゼー府あり、其の近傍に最大なる金字塔三個屹立す。

アレキサンドリアはニール三角洲の北隅に位しカイロに次げる都會

にして貿易極めて繁盛なる要港なり、其の他の小都會を擧ぐればダミ
ーク、ザクザツク、ロセツタ等あり。

三二二 スビア及び東方スーダンの形勢

エジプトの南境より北緯十度の間に亘る地方をスビアとし、北緯十度
よりアルベルドニアンザ湖に至る地方の總稱をエジプトスーダンと
いふ、ニール河の上流其の中央を貫流す、初めエジプト政府此の地方を
領せしが先年、マーダー(偽聖)の反亂より今は全く其の支配權を失へり、
此の地方に於て都府の主なるものをカアツーム、センナア、スアキム、マ
ツソア、バアバア、エル、オバード等とす。

三二二 前地方の物産及び通商

物産は象牙を第一とし、麥、木綿、藍、煙草及び諸種の謨謨等あり、隊商は此

等の物品を運搬してカイロ若くは紅海岸のスアキムに往來す。

三二三 アビシニアの形勢

アビシニアはスビアの東南に位する高原地方にして平均七千呎の高
さを有し、數多の隘谷(四千呎の深さ)低窪によりて國內數片に分割せら
る、人口殆ど三百万、方今重なる住民はアラビアの南方より來れるカラ
種族なり、此の國土饒頗る豊饒にして木綿、砂糖及び珈琲を産し一年三
回の收穫ある地ありと云ふ、商業は皆内地に限り外國貿易絶無なり、都
府も亦ゴンダル、サマラ及びアケダラ等の小都會あるのみ。

三二四 バルバリー地方の地勢及び氣候

エジプトの西方地中海に瀕する地方を總稱してバルバリーといふ、中
に四國ありモロッコ、アルゼリア、チュニス、トリポリ是なり、大アトラス

山脈モロツコの中央を横断し、餘勢小アトラス山と成りてアルゼリア及びチユニスに連亘す、山脈以北は氣候溫和なれども以南はサハラに接して炎熱頗る甚だし。

三二五 モロツコの地勢

モロツコはバルバリー地方最西の專制國にして面積二十二萬方哩人口大約五百萬あり、西北の海岸凡そ八萬方哩はテル地方と積し豊饒にして果穀を産しムールス人専ら此に住す、山嶽地方はバアバア人の住する所にして其の實際は獨立なり、サハラ地方は獅子、豹等の住する所なれば人類の得て住むべきなし、首府はモロツコ(五萬)といひ、フェス及びメキネズ之れに亞ぎ、モカドル及びタンジールは海港なり。

三二六 アルゼリア及びチユニスの形勢

此の二國はモロツコの東方にあり、アルゼリア(面積十八萬四千方哩人口四百萬)は大にしてチユニス(人口二百萬)は小なり、而して前者は全く佛國に屬し、後者は其の保護の下に立つ、テル地方は豊饒にして能く果穀を産し、山地以南の沙漠地は境界未だ分明ならざる所あり。

アルゼリアに於けるテル地方凡そ四千五百萬エーケルの耕地は大抵皆歐洲人の所有に屬し、佛、西、英、諸國との貿易頗る盛にして鐵道の延長又二千哩に達す、チユニスにも亦殆ど三百哩の鐵道あり。

二國共に首府は國と同名にしてアルゼリアは人口七萬五千、チユニスは人口十四萬五千あり、アルゼリアには尙オーラン、コンスタンチン、ホーン等の都會ありて、皆地中海岸に立てり。

三二七 トリポリ及びフェザンの形勢

トリポリは前二國とエジプトとの間に位する地中海岸の地にして、エザンは其の南に位する寂寞荒涼の沙漠地なり、トリポリの名は首府の名より來る所にして、人口殆ど百萬全くトルコの所轄に屬す、産物の主要なるものを駝鳥、羽毛及び小麥とす。

三二八 スーダンの形勢

サハラの南に在りてアビシニア以南々緯二十二度邊に至る總稱を東部アフリカとす、前面は一帶の低原にして氣候酷熱健康に害あり、背後は高原にして内部と境を分ち其の高地は氣候頗る溫和なり、ソマリラの東北端カルダフィー岬より南方デルガト岬に至る間はドイツ人の勢力盛に行はれ、夫より以南テラゴア灣に至る間はポルトガル人の威力行はる、産物は砂金、象牙、羽毛等なり。

其の主要なる區劃を擧ぐれば(一)アジヤ海岸のドイツ保護國(二)ザンツバル(首府同名)(三)ポルトガル領地等なり、ポルトガル領は又ソフアラ及びモザンビーク等の九州に分つ。

三二九 部アフリカの形勢

大西洋岸に在りて、南緯十八度より北の方サハラに至る地方を西部アフリカと總稱す、沿岸は低原相連り内地は高土にしてセチガムピヤ上下ギアナ、コンゴ自由國等に大す、歐米諸強國各地に貿易場を設け益を内地に延べんとす。

今其の主要なるものを擧ぐれば佛國はセントルイス、ゴリ及びガブン并にオゴワイ兩河邊の保護國、英國はカンピア、シルラレオン、ゴルド海岸、ドイツはカメルーン及びフリカ岬よりオレンシ河口に至る

海岸、イスマニアはフェルナンド、ボイ島、米國はリベリア、ポルトガルはコンゴ、アンゴラ、ロアンダ、ベンゲエラ等の地を有し、何れも象牙、金、羽毛、椰子油及び護謨等を貿易す。

三三〇 コンゴ自由國の形勢

此の國は西部アフリカに屬しコンゴ河の大流域の全部を包含する豊饒の地方にして、人口二千七百萬あり、ベルギー王之れを統轄す、コンゴ河はスタンレー湖よりスタンレーコールに至る千哩間航行し得べく、探險者は大抵之れを溯りて内地に入る、道路又漸く修り、鐵道の開通も近きにあらんとす、現今貿易場合して廿七箇所あり。

三三一 南部アフリカの形勢

南部アフリカは南緯廿二度より三十五度の間に横はり、多くイギリスの勢力範圍なり。

三三二 ケープコロニーの形勢

ケープコロニーはオレンジ河以南の海角地二十三萬二千方哩を包有し、海岸線千三百哩あり最南をアガルハス岬(アフリカ最南端)とし、其の西方に地理歴史上有名の喜望峯あり、灣はセントヘレナ、サルダンハ、テンプル(以上西方)フォールス、及びアルゴア等を主要とす、國中の最高峯を雪山といひ高さ八千五百呎あり、氣候は夏頗る暑く且乾燥なれども健康を害せず、人口は殆ど百廿五萬、其中白人の數三割に過ぎずして他はカフル及びホツテントットの二種族なり。

内地の高原は牧畜に適し、羊を牧すること盛にして、羊毛の産出夥し、其の他、金剛石、羽毛、獸皮、銅等を産し、鐵道千八百哩、電信線五千哩あり、都府

の大なるものをケープタウン(海港)、キムバルレー及びポートエリザベス(海港)とし、之れに次ぐものをガラハム、エーストロンドン(海港)等とす。

三三三 英國保護の諸州

ケープコロニーの東北に位するベチユアナランド、ボンドランド、バスドランド及びズールーランドの一部は皆英國の保護國なり。

三三四 ナタルの形勢

ケープコロニーの東北に在りて、アムタムフアナ河とツゲラ河との間に介るをナタル殖民地とす、人口五十五萬(内四萬は白人種)あり、氣候酷熱なれども豊饒にして砂糖を産し、牧羊亦盛なり、其の他羽毛及び象牙を出す、首府をピータアトリツツブルグ(一萬六千)といひ、海港をダルバン(二萬五千)といふ。

三三五 オレンジの形勢

此の國はヴァール、オレンジ及びカレドン三河の間に在る小國にして、人口十五萬(内六萬餘はオランダ農夫なり)牧羊及び駱駝の飼養最も盛にして、又金剛石、石炭、金を産す、首府をブロームフォンタインといひ、電信線ありて、ケープコロニー及びナタルに連絡す、今英國の所屬なり。

三三六 トランスバールの形勢

此國はリンボボ、ヴァール兩河の間に位する大國にして、人口三十六萬内六萬(其中四萬五千は和蘭人)は白人種なり、地味氣候共に農牧に適し、金、鐵、石炭を出す、都府の大なるものをバルハアト(七千)とし、首府をプレトリア(五千)とす、電線(五百哩)を通じ鐵道又東邊に開通せり、現今英國の殖民地なり。

三三七 ブルノールランドの形勢

此國はツゲラ河とセントルシア灣との間に在り、住民慓悍にして嘗てセチヨヨ一の指揮によりて(千八百七十九年)ナタルを攻め、イサンヅラに英軍を破りしが、ロークスドリフトの大戦争に敗北して分散し、今は専ら農牧に従事す、酋長ありて之れを統轄せり。

三三八 本洲諸島嶼の形勢

アフリカ周囲の諸島嶼中マダガスカル及びコモロ諸島を除き他は皆歐洲諸國の隸屬にして其の大西洋に散在するものは皆火山質なり。マダガスカルは本洲最大の島嶼(長千哩)にして、全島多くは山岳重疊し最高のもは九千呎に達せり、東岸の地は、東南恒信風の爲に降雨多く土地又豊饒にして人民農牧を務め、又良材を産す、全島の人口三百五十

萬、住民中ホーヴァ人最も多数にして勢力あるものとす、首府をアンタナナリボ(十萬)といひ島の中央に在り、東岸に在る要港をタマテーヴといふフランスの領地なり。

カナリー諸島(西班牙領)は洲の西北岸に在り、最大なるをテネリフ島とし、之に次ぐをグラन्दカナリー島とし、最も西に位するをフアイロ

ー島とす。アソレス諸島(葡領)は本洲の最西北に在り、セントミケール、フェーヤル等の九島より成る、マデラ諸島(葡領)はカナリー、アソレス二群島の間におり、首府をファンシヤルといひ大西洋航行の汽船碇泊の地なり、ケープベルト諸島(葡領)はベルト岬の西に在り、セントビンセントに良港を有す。

モリシアス(英領)は熱帯中に在る島嶼にして、風景絶佳多量の砂糖を産す、首府をホルト、レイといふ、アツセンション(英領)は南緯九度の邊にある火山岩の一塊にして海上三千呎に屹立しセントヘレナ(英領)は其の東南八百哩にあり、首府をジエームスタウンと稱す。

ボルボン島(佛領)の首府をセントデニスとす、輸物物の主要なるものは珈琲及び香料なり、島中に火山二座あり。

右の外フェルナンドポー及びアンナボン(は)西班牙に屬し、プリンス島及びセントトーマスはホルトガルに屬し、ロドリグス、アミランド諸島及びソコトラ等は英國の所轄に屬す。

第五章 北アメリカ洲

第一節 總説

三三九 北アメリカの沿革及び形勢

北アメリカは新世界中南アマ以北の三角形の大陸地にして、面積八百六十萬方哩千四百九十二年コロンブスの發見せし所なり。

然れどもコロンブスは同九十八年に此の大陸を見たりしのみ、土地征略の念は未だ之れ無かりき、其の之れあるは實にイスパニア人に始まる、イスパニアは首としてメキシコ及び二三の西印度諸島を畧取せり、千五百三十四年に至り佛人此の地に殖民をなし堡砦を設く、次で英人來たりて漸次佛人を逐ひなりしが、中部の人民は千七百七十六年に本國の羈絆を脱して獨立し、十三州を合して合衆國聯邦を建てたり、又メキシコは千八百三十年イスパニアより分離して獨立せり。

人口大約九千四百萬にして、其大部分は白人種、其の他は黑人アメリカ印度人及び混合種族なりとす。

三四〇 地勢及び海岸

西にコーゲレラ山系あり、東にアツバラチエーン山系あり、其の中間は一帶の平原にして、北は北極洋に至り、南はメキシコ灣に至る、西方の大山脈は南北兩アメリカを縦貫する、コルゲレラ山系の一部にして、ロッキー山系は之を組成する山脈中最も主要なるものなり、又海岸は出入頗る多く、延長二萬四千五百哩(三百五十方哩)に付一哩の割あり、東岸に於ける主なる出入は、バツフイン、ハドソン、セントローレンス、フアンデール、メキシコ諸灣、カリビアン海及びブラダドル、ノヴァスコチア、フロリダ、ユカタンの四大半島並に、レース、コット、ハツタラス、セーブル諸岬に

して、西岸に在りてはカリフォルニア灣、アラスカ及び下カリフォルニア半島、北岸に在りてはグリーンシア灣等なり。

三四一 島嶼及海峽、地峽

島嶼の主要なるものは東岸に多し、即ちアンチコッチ、プリンスエドワード、ニューファウンドランド、バナムダス諸島及び西印度諸島にして、北岸には廣大なる群島あり、其の最大なるものはグリーンランドと云ひ、西岸最要のものをバンクレーバ島とす、海峽はハドソン、ダヴィス、バアロウ及びペーリンガ等を重なるものとし、地峽の有名なるものをバナム(三十哩)及びテファンテベックとす。

三四二 山嶽及び河湖

本洲最高の地はメキシコにして、殆ど九千呎に達し、アツバラチエーン

山系中最要のものをアレガニー山脈とす、コルサレラ山系の重なるものをロツキー山脈とす、洲の四大河とはミシシッピ(南流)マツケンジ(北流)セントローレンス(東流)及びサスカチエワン(同上)と稱するものにして共に中央平原の間に在り、西方大平洋に注ぐものをコロムビア及びコロムビアの二川とす、湖水の大にして且多きは世界第一に居る、故に又湖沼大陸の名あり、其の數無慮數百にして大抵は大河の一部をなせり、其のクレートベリア、グレートスレープ、アサバスカ、ウインニペク、スウペリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー及びオンダリオ等は最も重要なものにして、最後の五者のみにても面積合して九萬方哩あり。

三四三 氣候及び動植物

北緯十度に起り八十度に終るを以て、氣候及び動植物の階級種類甚だ

多し、氣候は概して同緯度の歐洲諸國より寒く、西岸より東岸に南方より北方に至るに従ひ寒暑の差漸次に甚だしく、温度の變化又極めて急激なり、降雨も亦西及び南に多く東及び北に赴くに從ひて減少す、植物は前各洲の階級に異らざれども動物は聊か記すべきものあり、即ち水牛、カリブ(馴鹿)に對するもの(麋、熊、海豹、海狸等(北方)に多く、哺乳獸の少きこと、袋鼠と稱する有袋獸、蜂雀、響尾蛇等の棲息すること等はなり。

三四四 礦産の概況

北米は世界第一の礦産地なり、其の種類が多きこと其の量の夥しきこと共に世界に冠絶す、アレガニー山西のアツパラシアン石炭礦は面積七萬方哩、ミスソーリ河邊の炭田は八萬五千方哩(合衆國第一)等合衆國の炭田のみにても凡そ十九萬方哩あり、尙ほカナダよりも許多の産出

あり、又合衆國は鐵夥しく金、銀、銅、鉛、水銀、錫等も所々より産す。

第二節 グリーンランド

三四五 グリーンランド

グリーンランドは主としてエスキモー種族の住する所にしてデンマルク政府の所轄に屬す、其の土地は蓋し群島にして氷雪の之れを蔽ひて相連接するものなるべし、住民多くは海豹及び鯨の漁獵に従事し、又少許の大麥及び馬鈴薯を産す、西岸に二三の殖民地あり。島の西方にナレス海あり、船長ナレス氏千八百七十六年北緯八十三度廿分に達せり、依りて名けられたるものなり、又同八十三年には合衆國海軍副提督クリーリー氏は八十三度廿四分の地に達せり。

第三節 カナダ

三四六 カナダの形勢

カナダは北米の北方に位する三百五十萬方哩(歐洲全土と同じ)の大地方にして、ニューファウンドランドと共に北米全面積の三分一を占め皆英國に屬す、國內を十二州に分ち、議會は年々聯合首府なるオッタワに開く、各州又各々其の議會を有し、國の總督は英國皇帝の代表者たり、山の最も高きものは英領コロンビアの部に在るロッキーマウンテンの一部にして、河はセントローレンス、マツケンジ、フレザア、レッド及びサスカチエワン河を大とし、湖はスウペリアル、ヒューロン、エリー、オンタリオ、ウイニペグ、マニトバ及びグレイトベア等为主要とす、氣候は歐洲に比するに大差なく唯々四季漁乾なるを異りとす、人口は五百萬(一方哩一人半の割)なれども、大概はセントローレンス河畔に住し、農林業及び

漁獵に従事し合衆國及び英國と大なる貿易を行へり、住民多くはイン
グラント人スコットランド人の子孫にして皆英語を用う、然れどもク
エベック洲には佛語を用うる佛人の子孫多し。

三四七 カナダの産業

カナダは農産及び林産に頗る富饒なり、又畜産及び礦産も少なからず、
又ニューファウンドランドの近海は世界三大漁場の一なり。

三四八 カナダの都府及び交通

水利の便は世界第一に居る、セントローレンス河口より溯り許多の湖
沼を経、大陸の中央を貫き、マッケンヰー河に入りて北極洋に至るを得
べし、鐵道又一萬三千哩に達しカナダ大平洋線路の如きは東西兩大洋
を連絡し、航路九百二十哩を短縮したり、都府の大なるものはモントリ

ール(クエベック州十萬以上)トロント(オンタリオ州十萬以上)クエベッ
ク、ハミルトン、ハリファックス(ノバスコシア州)、オッタワ(オンタリオ州)、
セントジョン(ニューブロンズウィック州)、ウヰンニペグ等なり。

三四九 ニューファウンドランドの形勢

カナダの東方に位し、其のノース岬はアイルランドのグリーア岬を距
る千六百五十哩に過ぎず、海岸の凸凹甚だしく、内地は沃野頗る多く又
木材を産し、銅石炭其の他の礦物に富み、住民は専ら漁獵に従事す、主要
の都府をセントジョン(三萬五千)といひ東海岸に在り、全島英國の所管
に屬す。

第四節 北アメリカ合衆國

三五〇 合衆國の形勢

合衆國はカナダの南方三百五十萬餘方哩(東西二千八百哩南北千七百哩)の大地方にして、千七百七十六年建國以來農工商業の發達著しく、百年前に在りては人口僅に三百萬に過ぎざりしが、今は七千六百萬あり、地勢西半は川多く東部にはアパラシアン連山連亘するのみにして、其の他は平地なり、又中央の地は所謂ミシシッピの流域にして南方に傾斜し地味極めて肥沃なり、此の國の海岸は概して正整にして深き出入なしと雖、ミシシッピ河(四千二百哩)及び其の一溌流ミズリーの如きは殆ど水源(ロッキーマウンテン)まで航行するを得べく(其の他の溌流三十餘も)エリー運河は大湖に達してホドソン河に通じ、大湖又ウエルランド其の他の運河によりてセントローレンス河に航行するを得べし、其の他陸路は甚だ少しと雖、鐵道の延長殆ど十七萬哩ありて交通の便世界

に冠たり。

川の尙ほ大西洋に注ぐものはコロンビア及びコロラドにして、大平洋に注ぐものはハドソン、デラウエア、サスクエハンナ、ポトマック、ジエームス、サヴァンナ等なり、湖の大なるものはミシガン其他の大湖及び大鹽湖にして、大鹽湖は數多の陸河を受くれども流出口なく、鹽分は湖水の十餘倍に達して人體水中に沈まず、且つ四千二百呎の高地にあり。

三五一 合衆國の氣候及び産業

氣候は土地廣大なるが故に寒暑固より一ならずと雖、一般に寒暑の度甚だしく唯、大平洋斜面の地のみ溫和なり、産業は農牧を第一とし、鑛業も漸次發達し製造はオハイオ河及びポトマック河の北方諸州に於て盛に、海岸の地に於ては漁業漸く進歩す、商業は内外の貿易共に盛な

り、輸出の主要なるものは木綿、穀類、石油、金、銀及び烟草とし、輸入は鍛鐵及び鐵鑛、織物、葡萄酒、絹、陶器、珈琲、砂糖とす。

此の國の鑛物に富めること實に計るべからず、大西洋諸州及び中央諸州に於ては無量の石炭を産し、又殆ど鐵鑛より成れる高山數多あり、ロツキー山諸州及び大平洋諸州は金銀を産すること夥し。

電線の延長總計五十五萬哩、電話局の數三十五萬あり、郵便物の數は一年殆ど八億に達し、商船の數二萬四千艘に及ぶ。

三五二 合衆國の住民政體及び軍事

住民は多くイギリス人及びドイツ人の子孫にして英語を用う、黑人種は凡そ一千萬あり、本來の土人は漸次減少しつつあり、全國を四十五州に分つ、政體は聯邦共和政體にして、立法院をコングレツスと稱し上下

兩院より成る、行政の長官を大統領といふ、又海陸軍の總督たり、陸軍は全國を八陸軍區に分かつ、東部、ミズーリ、テキサス、カリフォルニア、ダクタ、ブラッド、コロラド、ロンビア是なり、而して其の兵數は常備二萬七千百六十九人に過ぎず、民兵又十一萬五千人あり、海軍は百九十二艘の軍艦より成り、海員二萬二千五百人なり、造船所はブリークリン、ボストン、ホーツマウス等十箇所に散在す。

宗教は頗る自由にして、現今新教徒殆ど三千萬、舊教徒殆ど千萬人あり、教育よく普及し至る處大學校、女學校、高等學校、小學校あり、北部諸州及びニユーイングランドを以て殊に盛なりとす。

三五三 合衆國の都府

首府はワシントンなり、然れども此より盛大なるもの頗る多し、ハドソ

ン河口の紐育(三百四十萬)の如きは人口の點に於てはロンドンの次に位す、れども、商業及び製造業の中心としては新世界第一たり、其の他フィラデルフィア、ブリークリン、シカゴ、ボストン、セントルイ、バルチモール、シンシナチ、桑港、ニューオールリヤン等最も繁盛なるものなり。

第五節 メキシコ

三五四 メキシコの形勢

メキシコは大地峽の北方に位する一大高原地にして低地は僅に海岸に存し、面積七十四萬方哩、嘗てアツテックと稱する強大の帝國なりしが、一旦イスパニア人の奪ふ所となりて新イスパニアの名を得、後其の勢力衰ふるに乘じて獨立の共和國となり、更にオースタリアのマキシミリアンに征服せられ、マキシミリアン敗死の後再び獨立して聯邦共

和國を組織せり、現今廿八州及び下カルフォルニアの一部に分る、此の國銀の産出夥だしく方今世界第一と稱す、破山五百六十九箇所中五百四十一箇所は皆銀山にして、一年の産出價額六百萬磅(世界産出額の二分の一)に上り、又多量の金及び銅を産す、氣候内地の高原は炎熱甚だしからざれども、低地は暑氣強く乾燥降雨の二季あり、山林地を除くの外は肥沃の地多きを以て人民は礦業に次ぎて農業を務む、製造業は見るべきものなく、森林は良材に富む、高原の主要なるものをアナハック(平均七千六百呎)と稱し、山脈の重なるものをシーラマドル、コルゲレラ、ドアナハックといふ、高原の南端に火山十三あり、ボ、カテペトル(一七八八四呎)を最高とす、河流は一も舟航すべきものなし。

三五五 メキシコの住民及び都府

人口は殆んど一千三百五十萬、多くはイスパニア人の子孫及び混合種にしてイスパニア語を用ゐ、舊教最も廣く行はる、土人は次第に其の數を減ぜり、首府は國と同名にして人口三十二萬、アナハツク高原の中央に峙ち海上七千五百呎の高所に在り、市の中央の伽藍は金銀珠玉を鑛め新世界中最も壯麗のものなり、メキシコに次ぐ都府をカダラツヤラとす、鐵道は延長五千哩餘、首府とウエラクルーツ、ニューオルレヤン及び桑港を連絡す。

三五六 ユカタンの形勢

ユカタンはメキシコ聯邦の一なれども時々獨立を唱ふ、氣候頗る溫和に土壤又豊饒なり、首府をメリダ(三萬八千)といふ、海港はカンピーチーといひ同名の灣頭にあり。

第六節 中央アメリカ

三五七 中央アメリカの形勢

中央アメリカは地峽地方に横り、グアテマラ(首府ニューグアテマラ)サンサルバドル(首府同名)ニカラガ(首府マナガ)ホンデュラス(首府テグシガルバ)コスタリカ(首府サンジヨス)の五共和國ホンデュラス英殖民地(首府ベライズ)及びモスキートシア王國(首府グレートウ)等に大別す、全部豊饒なる高原にして果穀を産し、火山脈多きを以て地震屢起る、面積合して十八萬六千方哩、人口三百萬(一方哩十六人)大抵はイスパニア人にして大半は土人なり、宗教は羅馬教とす。
パナマ運河は北米合衆國によりて經營せられんとす。

三五八 西印度諸島の形勢

フロリダの南端セーブル岬よりオリノコ河の三角洲に至るまでの海上に羅列する無数の島嶼を總稱して西印度諸島といふ、皆熱帯中に横はれどもバハマ諸島を除くの外は海風的作用によりて暑熱強からず、地味頗る肥沃にして、良種の砂糖、珈琲、木綿、椰子、煙草等を産し、良港多くして水路能く開けたり。

群島中唯、小アンチルとバハマ諸島中の東部のものを除けば他は皆山嶽多く、山峰皆森林に蔽はれ、桃心木等の良材を産す、氣候は一般に乾濕の二季に分れ、降雨季は五月より十一月に至る、小アンチルには火山多し、群島皆獸類少く短耳兎を以て最大の哺乳獸とす、諸島を合して面積九萬五千方哩、人口三萬許、黑人にあらずんばイスパニア移住民の子孫なり、大アンチル諸島中のキューバには鐵道千哩あり、人口百五十萬

(百萬は白人)砂糖の産出夥し、首府をハヴァンナ(二十萬)といひフロリダ海峡に臨める美麗の都府にして、府内の一寺院にコロンバスの遺物あり、北米合衆國保護の下に獨立せり。

三五九 英領西印度諸島の形勢

シヤマイカ、バハマ及び小アンチルの大部分は英領なり。

シヤマイカは人口五十萬、大さキューバ及びヘーチーに次ぐ、島中河流頗る多く、砂糖、珈琲及び香料を産す、首都をスパニッシュタウンといひ、商業の中心をキングストンといふ、バハマは二十の珊瑚島より成り、首府をナツソーといふ、其のワットリンク島はコロンバスの第一發見地たり。

トリニダットは向風諸島中最大のものにして、南米に近く、土瀝青湖あり。

るを以て著る、バルハトリス島は人口最も稠密なり、下風諸島中産物最も多き所をアンチカとす、砂糖、火酒等を輸出す。

ヘルムーダ諸島は殆ど四百の珊瑚島より成り、人の居住するもの五あり、最大の都府をハミルトンといふ。

三六〇 他諸島の所屬

ブラジスはマーチニク、ガドロップ其の他二三の小島を有しオランダはキエラソ、其の他二三の小島を領し、又佛國とセントマチアン島を分有す、デンマークはバージン諸島中の最大なるサンタクルーズ、セントトマス及びセントジョン島を有す。

三六一 ヘーチーの形勢

此の島は向風海峡を隔て、キューバに對し、大ききはキューバに次げども人

口は百萬に至らず、大概未開の黑人及び混合種なり、沃野及び礮山多けれども白人其の地を所有するを得ず、又官吏たることを得ず、選舉權をも有する能はず、島内二共和國に分れ一をヘーチーといひ、一をドミニカンといふ、ヘーチーの首府はホル、アウ、プリンス(四萬五千)にして良港を有せり、ドミニカンの首府をサントドミンゴ(國の別名)といふ。

第六章 南アメリカ洲

三六二 南アメリカの形勢

南アメリカは南方の小部分を除き他は全く熱帯中に在りて暑熱強く、東南、東北の二貿易風非常の濕氣を含み來りてアンデス山脈に觸れて雨となるを以て此の山脈の東側には最多の降雨を生じ其の西側には

乾燥せる氣候を生ず、即ちアンデス山(四千五百哩)の東側にはアマゾン(世界第一の大河)オリノコ、ラブラダ諸大河を涵養し、此の舟運の便は海岸線(一萬五千哩)短少の缺を補へり、又アマゾン河の谷にはセルバと稱する世界最大の森林あり、全洲の面積六百五十萬方哩、出入の主要なるものはアマゾン及びラブラダ河口の滲入カリナス岬(北)セントローク岬(東)ホルン岬(南)パリーナ海角(西)等にして海峡もマゼランの一あるのみ、島嶼亦甚だ少く最大なるものをアマゾン河口のマラジヨ島とし、商業上最有用のものをチラテルアイゴ群島とす、其の他西南海上には無数の小島あり、氣候北部の大半は炎熱強く、高地及び南部は中和なれども極南は寒氣強し、全洲一般に濕氣深く、アンデス以西無雨の地は降露強く以て地を濕すに足る、又年中殆ど變化なく、低地は夏にして山頂は

冬に其の中間は春なり。

三六三 地勢及び山河

西部は總てアンデス連山南北に連亘し、東部はブラジルの諸連山、北部にはハリメ、アカリーの諸連山あり。

中部は南北に亘る一面の大平原にして概して肥沃なり、南方には百三十の活火山及び數多の熄火山あり、最高の山峯をアコンカガ火山(二二四一五呎)とす、アンデス山の一部たり、之れに次ぐものを北アンデス山中のチンボラソ(二〇七〇〇呎)アンチサナ、コトバキシ三大火山とし、中アンデス山脈中にはイリマニ及びソラタを最高とす。

河流は既に形勢中に概説せる如く、アマゾン河の如きは濼流を合して五千哩間大船を通ずべけれども、湖水はマラケーボ及びチ、カ、二湖

の他著名のものなし、マラケーボはベ子シユラに在りて海水と相通じ、チ、カ、は一萬二千呎餘の高地に在り。

三六四 動植礦物の配布

動植物共に珍奇の物多し、殊に植物大陸の名ある程なれば椰樹其の他各種の花木夥しく、造船に適せる樹木藥材に供する草木多し、動物特に蟲類及び鳴禽を多しとし、獺、無峯駝、絨羊、亞獅及びシヤグラ等の猛獸、猴、コンドル、鴨鴨、蟒蛇、鱔魚等あり、礦物も亦頗る多くアンデス山邊到處に金、銀、銅、錫、寶石、金剛石、碧玉等の産出夥し。

三六五 住民及び文明の度

現今の住民は主として歐洲人、印甸人、黑人及び混合種より成る、土人は印甸人と稱し其の數五百萬に至らず、白人種は全人口の三分一にして

主としてイスパニア人の子孫なれどもブラジルにては葡人の子孫多し、方今南米の諸國は皆共和國なれども、内地の状態は未だ詳ならず。

三六六 コロムビアの形勢

コロムビアは本洲を北米に連接する所に位し、九州より成れる聯邦共和國なり、面積五十萬方哩餘人口凡そ四百萬あり、西部にはアンデス山脈高く聳へ、東部は低平にしてオリノコ河の深流之れを貫流す、氣候は各種の溫度を有し、産物の種類亦甚だ多く、桃心木、松柏、シンコナ、珈琲、カ、オ(チヨコレートの原料)生綿、染料、銀礦等を主要とす、首府をボゴタ(十萬)といひ、八千六百呎の高處にあるを以て氣候幸に溫和なり、西岸にバナマ(三萬五千)あり、兩府の間鐵道(四十七哩)を通じ、又大西洋岸のコロンに連り(全長二百五十哩)兩大洋間重要なる線路と稱す。

三六七 ヴェネジューラの形勢

ヴェネジューラはパリム山脈以北の八州及び數地方より成る聯邦共和國にして、カッシキユアと稱する著名の運河を有し、全部殆どオリノコ河の流域たり、面積六十三萬餘方哩、人口二百萬あり、産物は略々コロンビアと同じく、ラノスには牛馬多く群をなし、鐵道の延長殆ど四百哩に及ぶ、都府はカラツカス(首府八萬)パレンシア及びマラケーボを大なりとす。

三六八 ギアナの形勢

此の國は森林山岳の地にして英、佛、蘭三國之れを分領す、森林は良材を産し、河流は魚族多し、英領地は最も大にして面積十九萬九千方哩、人口凡そ二十五萬あり、労働者は黒人混合種及び支那人なり、首府をジョージタウンといひ、デメラ、河に臨む、蘭領地は稍、少にして首府パラマリボはスリナム河口に近し、佛領地は最も小にして人口三萬に至らず、多くは黒人なり、首府をケーエンと云ひ、久しくドイツの犯罪人流謫の地たり。

三六九 ブラジルの形勢

此の國昔時はポルトガルに屬せしが今は獨立して共和國となれり、面積三百二十二萬方哩(カナダと等しく、合衆國より大に殆ど歐洲全土に同じ)其の大半は高地なれども尙各種の土壤を有し、其の他はアマゾン、サンフランシスコ諸大河の全流域、パラゲー、バラナ、ウルゲー諸川の流域の大部を占め、植物に富めること世界第一たり、殊に珈琲は世界産出額の一半を出し、金剛石其他寶石、金、水銀及び銅の産出亦甚だ多し、人口

は千四百五十萬多くは海岸及び大河の畔に居住せり、都府はリオデジヤチロ(首府七十五萬)パヒア及びベルナンブコを大なりとす、鐵道殆ど六千哩に及び、外國貿易漸次に發達す。

三七〇 バラグエーの形勢

此の國はピルコマヨ及びパラナ兩河の間に在る小國(九萬二千方哩四十萬人)にして海岸を有せず、鐵道は二百哩に足らざれども舟航を利用せり、産物の主要なるものはバラグエー茶及び煙草にして、首府をアサンシヨン(二萬八千)といふ。

三七一 ウルグエーの形勢

此の國はラプラタ河口に臨める南米の最小國(七萬四千方哩十五萬人)なり、牧畜最も盛にして獸皮、羊毛、乾肉、獸脂等を産す、鐵道の延長五百哩

他は水利に依る、首府をモンテビデオ(十四萬)といひ主要の海港なり。

三七二 アルゼンチン共和國の形勢

此の國は諸共和國の聯合より成る、面積五十萬方哩餘、人口四百萬、現今パタゴニアの大半も此の國に屬せり、國內大抵原野にして牧畜最も盛に、歐洲人は小麥の培養に従事せり、交通は水運の他六千哩の鐵道三萬哩の電線あり、都府はブエノスアイレス(首府八十五萬)コルドバ及びロサリオを大なりとす。

パタゴニアは荒涼の大地方(沙漠あり)なり、土人は丈高く常に駱駝、リア(三趾駱鳥)及び兎を捕獲するを業とせり。

三七三 チリーの形勢

チリーはアタカマ沙漠よりマゼラン海峡に至る緯度二十八度以上に

跨れる狭長(長二千二百哩幅百哩)の地にして、面積二十九萬七千方哩人口三百萬あり、南極洋より來る寒流海岸を洗ふを以て氣候寒冷に、人民最も勤勉なり、耕地には小麥、大麥、砂糖、木綿を産し、硝石及び銅を出す、就中硝石は重なる輸出品なり、チリは南アメリカの諸國中最も企業心に富める國にして、英國との貿易頗る盛なり、鐵道の延長約二千哩電線又一萬四千哩あり、都府はサンチアゴ(首府二十二萬)及びバルパライソを大なりとす。

三七四 ポリビアの形勢

ポリビアはアンデス中部の高地及びアマゾンの深流なるアテイラ河の灌域なる斜面地より成る、面積凡そ七十七萬二千方哩人口二百五十萬あり、世界最大なるアンデス山(最高峰二〇〇〇〇呎)及びチ、カ、の高原皆其の西部にあり、農業及礦業を主要の産業とす、此の國鐵道なく又内地にあるを以てプエノスアイレス港を輸出港とす、首府はスークル(一萬三千)にして、都府の最大なるものはラーバズ(五萬六千)最有名なるものはポトン(一萬二千)なり。

三七五 ペルーの形勢

ペルーのアンデス東斜面森林地にはシンコナ樹を培養し、饒豊なる地(アマゾン上流)には甘蔗を植う、産物の主なるものは銀、硝石、羊毛、鳥糞なり、鐵道千七百哩ありて其の一線はアンデス山頂に近き所に達す、首府をリマ(十一萬)といひ本洲第一の大貿易場なり、之れに次ぐ都府をカラオ、アレキバ、クズコ等とす。

三七六 エクアドルの形勢

此の國は赤道直下の太平洋岸に在り、面積凡そ十二萬方哩、人口百萬多
くはアンデス山脈間の高地に住す、産業の主なるものは農業にしてカ
カオ樹膠、珈琲及びシンコナ樹皮を産す、鐵道又百哩あり、首府はキート
ン(八萬)といひ九千五百呎の高所に在り、海港をガヤキール(四萬五千)と
いふ。

第七章 オセアニア洲

オセアニアとは西南太平洋に於ける無數の島嶼及びオーストラリア
を總稱するものにして三部に大別す、(一)アウストラレシア(オーストラ
リア、ニューギニア及び附近の諸島)(二)マレーシア一名東印度諸島(三)ポ
リネシア(メラネシア、マイクロネシアをも含む)是なり。

三七七 オーストラリアの形勢

オーストラリアは南半球に在りて歐洲の對蹠點に位する一大島(三百
萬方哩)なり、歐人殖民の初に在りては穀物なく獸類(乳汁用び運搬用)な
き曠漠不毛の地なりしと云ふ、海岸は唯、東北にヨーク半島及びカア
ペンタリア灣あり、南方にスペンサア灣等の小出入あるのみにして港
灣甚だ少く、内地は東南部のムルレー流域(五十萬方哩)スペンサア灣北
の沼澤地方(一萬方哩)及び四邊沿岸の地を低平とし、他は皆高原の沙漠
地(平均五百呎)なり、其の面積殆ど百五十萬方哩に亘り、周圍には山嶽峙
てり、山脈は東邊に連亘するものを主要とし、最高峰をタウンセン(七
三五〇呎)とす、濠洲アルプスの名あり、ムルレー河は其の濠流の一なる
ダーリングの源頭まで二千三百四十五哩ありて濠洲商業の大路なり

其の他東海岸にフイツロイ河及びパーテキ河あり、北海岸にフリンダ
ース河あり、西海岸にアシユバートン及びスワン河あり、湖沼地方の最
大湖をアイルといふ、其の南方にトレンス西方にガールドナーあり、
アルレーの注ぐものをアレキサンドリナといふ、又高原の中部にある
ものをアマデユース湖とす、鐵道は各大都府を連絡すれども道路は未
だ修らず。

三七八 氣候及び産物

氣候は一般に乾燥酷熱なるを特性とす、但し東岸は海上より吹き來る
濕風、山脈に衝突して凝縮するを以て、雨量極めて多し、此の他の地方は
温度の劇變甚だしく、降雨の配布も一定ならざるを以て、洪水、旱魃の害
共に甚しく有名なるムルレイ河も、無雨の季節には舟楫を通ずる能は
ず。

此の地初めは果穀を産せざりしが現今大に繁殖せり、特有のものをも有
利加樹及び荊球花とす、動物も亦他大陸と趣を異にし胎生獸の如きは
全く無く、特有のものは食火鷄(駝鳥の一種)及び有袋獸にして有袋獸の
最大なるものを長尾驢とす、肉食獸中の猛惡なるものはヤンゴ(野犬)に
して、最も奇異なるは、鴨嘴ダックビレなり、鳥類及び蟲類は、羽毛の美と形容の偉麗
とを以て名あり、蛇類多くは有毒性のものなり、牛、馬、羊等を飼ひ特に羊
毛の産額大なり、礦物の主要なるものは金、銀、銅、鐵、錫、石炭、紅水晶、紅寶石
碧玉等にして金を最も多しとす。

三七九 住民及び區劃

土人をオーストラリア黒人と稱す、其の數次第に減少して目下僅に三

萬に過ぎず、此の人種は早晚或は絶滅に歸すべしと云ふ。殖民は概ね英人にして英語を用ひ其の數約三百五十萬に達せり、殖民地をヴィクトリア、ニューサウスウェールズ、クインズランド、南オーストラリア及び西オーストラリアに分ち、聯邦の政府及び議會を有し、又更に英國皇帝の任命せし總督あり。

三八〇 ヴィクトリアの形勢及び首府

本部は全大陸の東南隅に在りて、パッス海峡を隔て、タスマニアに對し、ムルレイ河を以てニューサウスウェールズに境す、此の大陸中には小區域なれども人口最も多く、且つ製造業盛にして殷富なりとす、川は北境のマルレイ河の外舟航すべきものなく、山は南方にピレネーグランドピアン東方にタウンゼントあり、農牧及び礦業盛にして、羊毛、金、麵

粉を産し、鐵道二千哩、電線四千哩あり、首府をメルボルン(五十萬)といひ、ヤーラ河に臨み船舶常に輻輳し、貿易甚だ隆盛南洋第一の都會にして、又最大の商工場たり、大學の設けあり、其の他メララット、サンダースト、ギーロンク等又繁盛の都會なり。

三八一 ニューサウスウェールズの形勢

本部はヴィクトリアの北に在りて、濠洲最古の殖民地たり、山の大きなものを藍山、リヴァプール山脈及びニューインクランド山脈とす、産業は農牧を第一とし、礦業之れに次ぎ、羊毛、穀類及び石炭、錫を産す、鐵道二千哩、電線二萬二千哩あり、首府シドニー(首府四十五萬)はメルボルンに次ぐ繁盛の地にして、大學の設けあり、又良港なるを以てイギリス海軍の根據地たり、其他メイトランド、ニューカッスル等も亦盛なりとす。

三八二 クインズランドの形勢

本部は全大陸の東北隅に在り、中央は山岳高原なるを以て、河流四方に分流す、其のフィツロイ及びバーデキン河は最大なるものなり、人口五十萬、農牧、礦業に従事し、玉蜀黍、砂糖、羊毛、金を産す、鐵道二千哩、電線九千哩に達す、首府をブリスベン(八萬)といふ。

三八三 オーストラリアの形勢

濠洲第二の大殖民地(百萬方哩)なれども、住民(三十五萬)は南方の一小部に居住するのみ、山はプリンダアスを主とし、川はフィングクリークを第一とす、産物は小麥(濠洲第一)羊毛、銅及び葡萄酒なり、鐵道は千八百哩、電線は六百哩に達す、首府をアデレード(七萬)といふ。

三八四 オーストラリアの形勢

本部は濠洲西方に位する最大殖民地(地積三分一)なれども、内地は概ね沙漠にして、海岸に三箇の小殖民地(人口總計五萬)あるのみなり、羊毛及び鉛を産す、首府をパースといふ、鐵道五百哩、電線三千哩あり。

三八五 タスマニアの形勢

タスマニアはバツス海峡の南に在る一島(人口十四萬)にして、中央の地は山峯起伏し多く湖水を湛へ、アルヴェント(南)タマール(北)等大小の河流を出す、其の沿岸は風光明媚、氣候又清涼なるを以て諸殖民地の遊覽所たり、首府をホバート(三萬)といひ、要港をラウンセストンといふ、羊毛、錫、果實、材木及び金を産す。

三八六 ユーシーランドの形勢及び形状

濠洲の東南千二百哩の海上に位する一群島をニューシーランドとい

ふ、形勢大に我が大日本に類し、形状はイタリヤに似たり、南北の二大島（クック海峡を以て隔つ）は山岳多く、従つて河湖の散布、浸潤の度、共に宜しく、海岸の出入港灣の配置また極めて可なり、山の最高なるを南方アルプス（一二三五〇呎）といひ、南島に在り、北島の高山は大抵火山にして最高峯をエグモン（八二七〇呎）とす、湖の最大なるものは（北島）トーパーにしてウエーカト河之れより出づ、此の島は海風の作用によりて寒暑共に中和を得且つ均一に降雨亦適宜なり、木材は松柏類多く、コーリ松を最有要のものとす、果穀は其の初め曾て産せざりしが方今漸く繁殖し、動物又頗る奇異にしてアプテリックス島（羽翼短く地を走る）を固有とす、其の他羊毛、金、銅、穀物、凍氷、肉、氈毯を産し、濠洲との貿易盛なり、都府はウエリントン（首府三萬）オークランド（六萬）（以上北島）ヂュチザン、グリ

ストチャイチを大なりとす、全島の人口六十萬、其の内四萬許はマオリ種族にしてポリネシア邊より渡來したるものなり。

三八七 マレーシアの形勢

マレーシア即ち東印度諸島とは濠洲の北方に散在する無數の島嶼を總稱するものにして、大サンダ、小サンダ、モラツカ及びフィリッピン諸島に大別し、群島皆火山に富み且世界第一の沃土たり、而して西部諸島の動植物はアツア的に東部諸島は濠洲的たり、諸島共に熱帯中に位すれども、海風の酷熱を和ぐるありて濕潤の地を除くの外は大抵健康を害せず、降雨又多きを以て植物の生育盛なり、高地は深林を以て蔽はれ、低地は胡桃、甘蔗、西穀、香料、珈琲、米、烟草等を産す、住民はマライ人を主とし、人口の總計四百萬許あり、貿易は活潑盛大に行はるれども商權は大

抵歐米人支那人の掌握する所となり、土地も亦オランダ、北米合衆國、イ
ンダラント等に屬するもの多し。

三八八 蘭領諸島の形勢

マレー群島のジャバ、モラツカ諸島、スマトラ、ボルネオ及びセレベス等
は蘭領の主要なるものなり。

ジャバは人口二千五百萬、高峻なる四十六座の火山島中に點在す、都府
の大なるものをスラバア及びバタビア(首府十五萬)とす、モラツカ諸島
は丁子の本國として世に知らる、其のアイボイナ島のアンボイナ府(二
萬)は商業盛なり。

スマトラ島も亦火山に富める大島にして人口百萬あり、最高の火山を
タランガ(一〇二五〇呎)といふ、島内礦物に富み石炭、硫黄、鐵、金等を産す、

大半はオランダの領地なり、首府をバダングといふ。

ボルネオは世界第二の大島にして、火山なく、最高の山をキニバロー(一
三〇〇〇呎)といふ、島内石炭、アンチモニー、水銀、金及び金剛石に富む、島
の大半はオランダに屬すれども、サラワツク及び北ボルネオ商會の地
方は英國の保護を受けラプアン島は全く英領に屬す、貿易品の主なる
ものを西貢米、蜂蜜、鳥糞、樟腦、海鼠及び鼈甲等とす、最大都府はブルニナ
リ。

セレベスはE字形の島にして、熾火山多く多量の金を産す、北半は蘭領
なれども南半は九個の回教土人國たり、マカツサー府を商業の中心と
す。

三八九 フイリツピン諸島

フィリッピン群島は北米合衆國領なり、群島中大なるものをルズンとし之れに次ぐをミンダナオとす、首府はマニラ(首府廿八萬)にしてルズン島に在り、商業最も盛にして砂糖、米、麻布及び煙草を輸出す、住民はマライ人及びチクリト人にして、商業は支那人の掌中にあり、群島の北部は屢々暴風起り其の餘勢我が日本に及ぶことあり。

三九〇 ポリネシアの形勢

濠洲の東北に散在する島嶼を總稱してポリネシアといふ、實はメラネシア、マイクロネシア及びポリネシアに分稱するを至當とす、諸島皆火山的(サンドウイッチ、フレンドリー、ソサイター諸島の如く)にあらざれば珊瑚島(カロリン、マーシャル諸島等の如く)にして、最も主要なるものをサンドウイッチ、フィジー二群島となす。大抵イングラランド又はフランス

ンスの領地なり、但しサモアのみは獨立の王國なり。

三九一 メラネシアの形勢

ポリネシア(總稱)の西部群島をメラネシアといふ、住民はバプア種に屬す、其の内(一)バプア(一名ニューギニア)は世界の最大島(三十萬方哩)にして、濠洲とトールレス海峡を隔つ、島中山多く(一萬八千呎のものあり)地味豊饒深林亦多し、西半部はオランダ之を領し、東北部はドイツ國に屬し、東南部はイングラランドの占むる所なり(二)ビスマーク諸島(食人種族住せり)はもと新アリテインと稱せしが、方今ドイツ國の所領に歸す(三)カロモン諸島も亦ドイツ領なり(四)ニューカレドニアは佛領の罪人流謫地にして金及び多量の白金を出し(五)ニューヘブリテスは火山の群島なり(六)フィジー諸島は英國に屬し、島數二百餘中人民の居住するも

の八十、地味豊饒にして砂糖を産し、首府をスケといふピチレフ島に在りて南洋航通の要津たり。

三九二 ミクロネシアの形勢

此の群島は概れ珊瑚島より成る、其の(一)最東なるギルバルト諸島は大平洋中人口最稠密(一方哩三百三十人)なるものにして椰子實を産す、(二)マーシャル群島には人口一萬あり、(三)カロリン群島は海上殆ど二千哩に擴布せる一帯の群島にして、一島を除くの外は皆環礁なり、(四)マリアナ群島は我國に最も接近せる火山島にして其火山脈は我富士帯に接續するものなり。

三九三 ポリネシアの形勢

ポリネシア群島は南北兩二十緯度の中間に擴布せり、(一)フレンドリー

諸島中最大最要のものをトンガターといふ、南洋航行の要津たり、(二)サモア諸島は火山島にして椰子を産し、(三)ソサイチー諸島は佛國に屬し、其の主要なるものをタピチ島とす、全島流焼石より成り、首府をパピテと稱す、(四)ポームツ諸島は又低群島の名あり、皆珊瑚環礁より成り、其の數八十、眞珠を産す、(五)マークニサスは火山的群島なり、(六)サンドウィッチ諸島は北回歸線の南に接し十二の火山島より成り、其の最大なるものをハワイといふ、活火山四座あり、其の三座はポリネシア中最高のものなり、(モナキー山一三八四〇呎、モーナロア山一三六五〇呎)モーナロアの一峯にしてキラウエアの噴火口は世界最大のものなり、各島地味豊饒にして砂糖及び米を産す、本邦よりの出稼人約三萬の多きに達す、首府ホノル、はオアフ島にあり、頗る良港にして大船巨舶を容る、

に足る、日本郵船會社の米國線航路の船舶は此に寄港す、布哇は曾て一
王國なりしが今は北米合衆國の版圖に歸せり。

世界地理問答終

明治三十八年五月廿二日印刷

明治三十八年五月廿六日發行

世界地理問答與付
正價金拾五錢



| | |
|-------------|------------------------------|
| 編輯者兼 發行所 | 東京市神田區裏神保町九番地 富山房 |
| 代表者 | 全所合資會社富山房社長 坂本嘉治馬 |
| 印刷者 | 東京市京橋區西紺屋町二十六、七番地 佐久間衡治 |
| 印刷所 | 東京市京橋區四紺屋町二十六、七番地 株式會社 英舍 |

發兌元

(明治廿九年六月設立)

合資會社

富

山

房

(電話本局一〇三六番)

諸大執家筆雷山房編輯部

最新問答全書

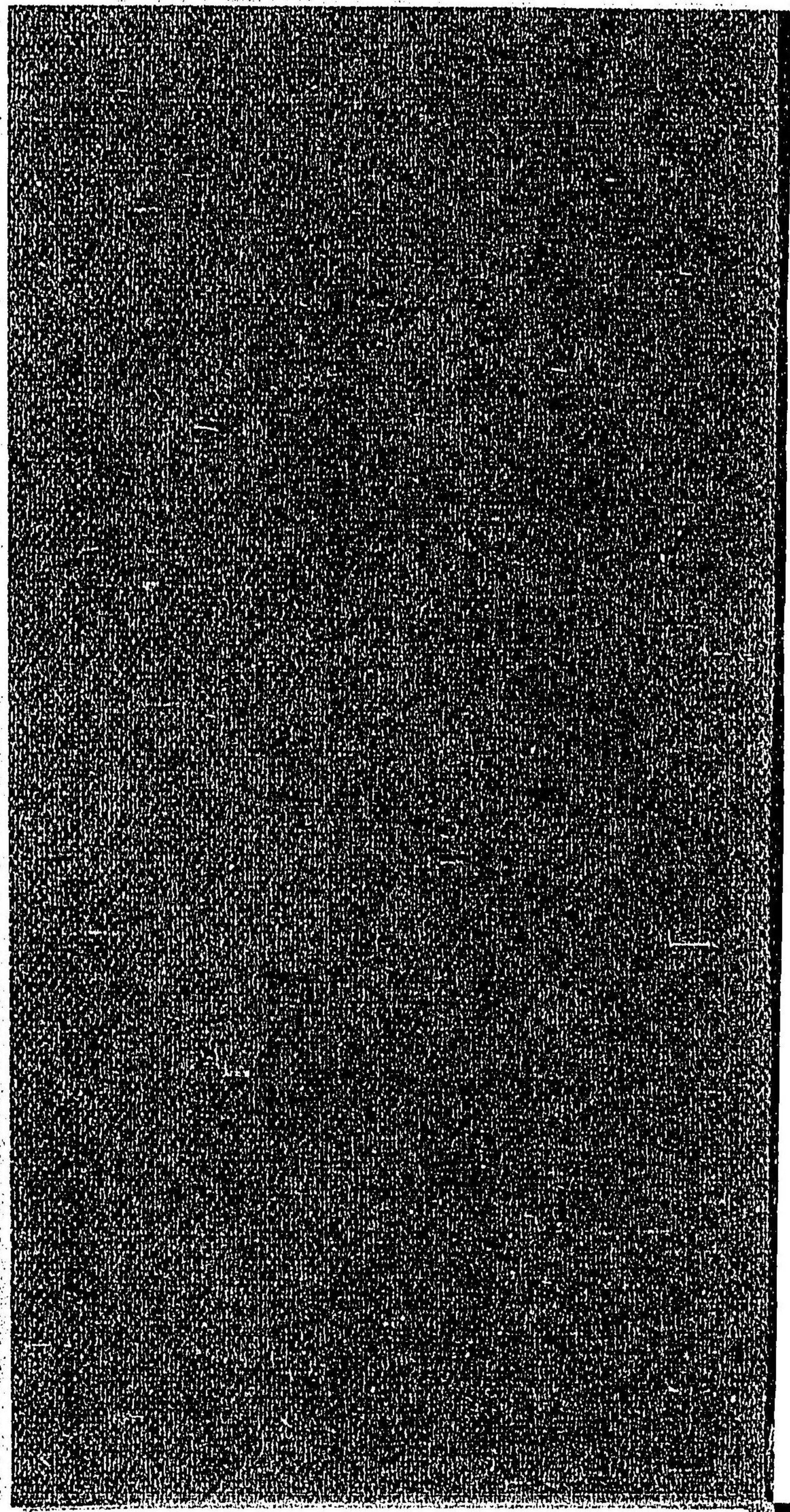
學問の寶鑑

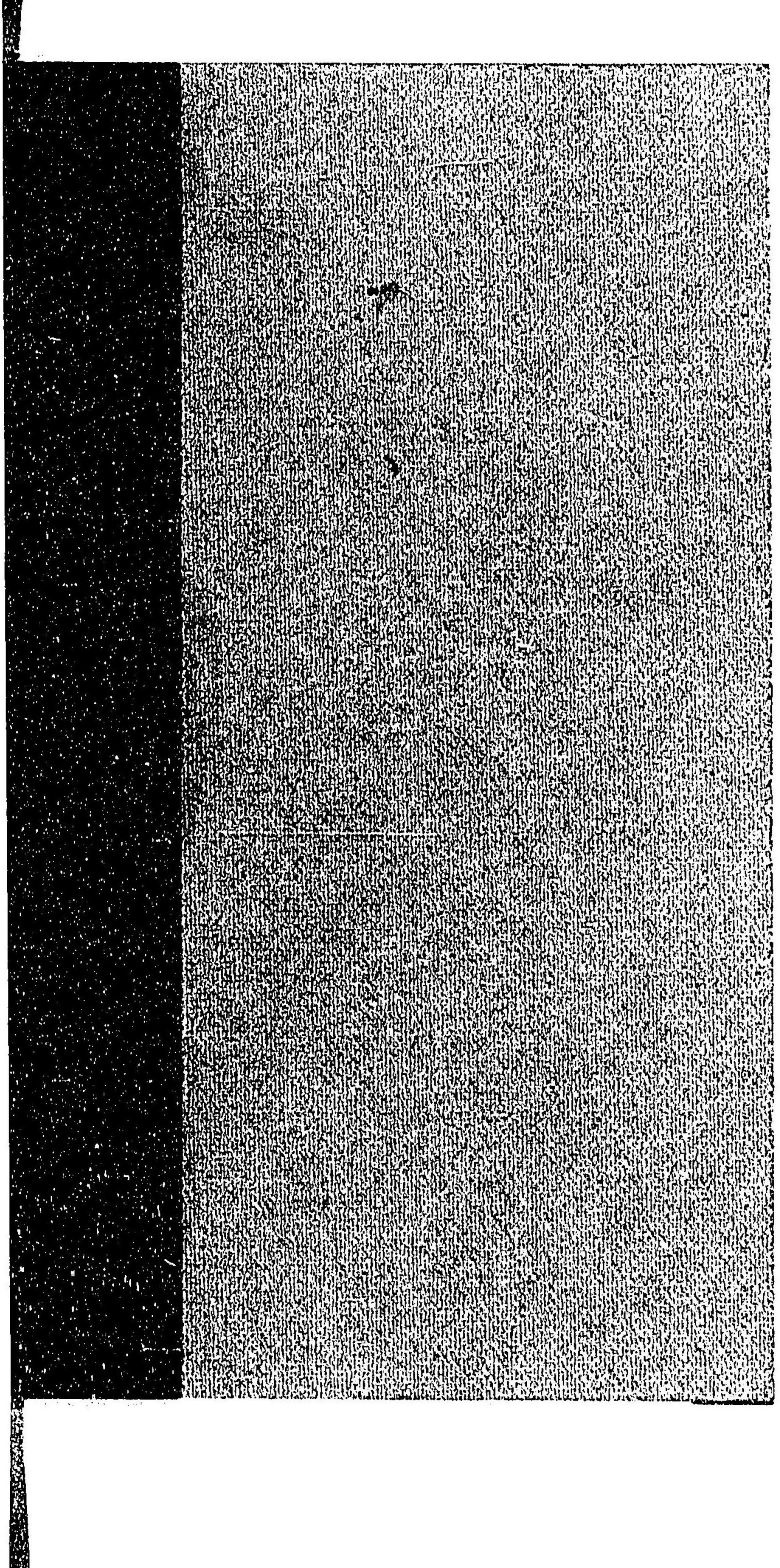
- 第一編 日本地理問答 (地圖入)
- 第二編 日本歷史問答 (地圖入)
- 第三編 西洋歷史問答 (地圖入)
- 第四編 世界地理問答 (地圖入)
- 第五編 國語問答 (地圖入)
- 第六編 東洋歷史問答 (地圖入)
- 第七編 教育歷史問答 (地圖入)
- 第八編 普通算術問答
- 第九編 普通代數問答
- 第十編 學校管理法問答
- 第十一編 地文學問答
- 第十二編 動物學問答 (插圖入)
- 第十三編 植物學問答 (插圖入)
- 第十四編 物理學問答 (插圖入)
- 第十五編 化學問答 (插圖入)
- 第十六編 生物學問答 (插圖入)
- 第十七編 礦物學問答 (插圖入)
- 第十八編 倫理學問答 (插圖入)
- 第十九編 英文學問答 (插圖入)
- 第二十編 國文典問答 (插圖入)

法受
米
の
旨

寸珍美木
紙數
每二百頁
正價每篇
錢五拾
郵稅
錢二付
宛六

獨修者無之二好伴侶





202536-000-5

特54-951

世界地理

富山房

M38

EDE-0063

